

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民農園整備支援事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	ハード ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'02	熟成 市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	'01	1 市民が身近に感じられ、生活に密着した産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
市民農園の開設により、遊休農地の有効利用が図られるとともに、農業に対する理解が深まっています。		農地の有効利用と農業理解を深めるため、市民農園の開設を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	市民農園総開設数			単位	箇所
	説明・算定式	ひらつか花アグリの中田市民農園マイ菜ファームを含む				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	20	20	23	24	
	実績	20	22	23		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	市民農園総区画数			単位	区画
	説明・算定式	ひらつか花アグリの中田市民農園マイ菜ファームを含む				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	1110	1110	1200	1230	
	実績	969	1171	1208		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	：予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
市民農園の開設に向け、市ホームページやパンフレット等により農地地権者へのPRを行うとともに、農園開設の意向がある農地について事前調査を実施し、西真土市民農園を開設しました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	市民の余暇が増大、多様化する中で農業との交流を深めるとともに、遊休農地等の解消を促進できる事業であり、必要性があります。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	市民農園は、市民ニーズが高く、引き続き市民農園の整備を促進することで、市民の潜在的な需要を充足することができ、有効性が認められます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	市民ニーズの実現を図るとともに、遊休農地等の有効活用に繋がるものであり、市民農園の開設促進のための支援措置については、妥当性が認められます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	開設にあたっては手続き等の支援をしますが、その後の運営は農園設置者が自主的に行っています。	高中低
今後に向けた課題の分析 市民の市民農園に関するニーズとともに、農業者の後継者不足から生じる農園設置相談も増えています。しかし、農園設置の条件が整わない箇所もあり、農園開設に向けた情報収集をしていく必要があります。また、農園の適切な管理のため農園主との連携を強化する必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		市民農園の開設の支援	市民農園の開設の支援	市民農園の開設の支援	市民農園の開設の支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	200	194	200	200
事業費 (A)		200	194	200	200
執行率 (%)		100.00	97.00	100.00	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 市民農園の利用ニーズが見込まれるため、1箇所(30区画程度)の開園を支援します。また、新規開園時には広報等を通じて利用者を募集します。なお、開園済みの市民農園に空き区画が発生した場合にも利用者を随時募集をします。
課長コメント 市民農園の利用希望者は一定の需要があり、計画通り1園を開設する予定です。引き続き農園開設地の選定や農地所有者の意向把握に努めながら、新たな市民農園の開設を進めます。